

## 第5回 JCHO東京城東病院地域協議会 議事録

日 時：平成29年7月12日(水) 13:35～14:45

場 所：病院3階応接室

出席者：笠井江東区医師会長、鵜田亀戸九丁目町会長、福内江東区保健所長、大塚江東区福祉部長（代理出席：大江江東区福祉部地域ケア推進課長）中馬院長、竹本副院長、森田事務長、松邑総看護師長、五井副施設長、相原老健看護師長、藤田地域包括支援センター長、青野事務長補佐（書記）

### 【内容】

- ・開会に先立ち、今回より委員の交替があったため各委員の紹介を行った。（江東区医師会長、事務長）
- ・院長挨拶の後、事務長より委員交替に伴い地域協議会の要綱説明、ホームページへの委員及び議事録の公開について、各委員の了承を得た。
- ・事務長より下記の事項について説明を行った。

#### ①平成28年度事業概況

- ・診療体制について（平成29年度）
- ・患者数の推移

#### ②救急体制

- ・救急搬送受入件数推移

#### ③手術件数

#### ④地域連携室の取組み

- ・紹介患者推移
- ・逆紹介患者推移
- ・主な紹介元

#### ⑤健康管理センター

- ・健診者数推移
- ・検査種類別推移

#### ⑥居宅介護支援事業所

- ・給付実数比較

#### ⑦介護老人保健施設

- ・入所者、短期入所者、通所者数の推移
- ・在宅復帰率の推移
- ・看取り状況の推移
- ・地域との交流について

#### ⑧地域包括支援センター（亀戸東長寿サポートセンター）

- ・65歳以上のサービス状況
- ・近隣包括地域毎の人口・高齢者人口
- ・相談件数及び相談内容内訳

⑨地域との交流

- ・各種イベント、実習生等の受け入れについて

⑩今後のスケジュール・その他

- ・認知症カフェ（ふくろうカフェ）開催について
- ・認知症家族会の開催について
- ・地域協議会の開催月について

**【質疑応答・意見交換】**

- Q. 亀戸東長寿サポートセンターは、4月からの移転してきて始まったばかりだが相談件数はいかがですか。
- A. 4月は移転したばかりで、件数的には150件程度でしたが徐々に増えてきて現在は200件程度です。土曜日の午前中は少ないです。
- Q. 病院と老健が併設されていて、更に長寿サポートセンターがあつて、地域住民にとっては非常にありがたい。
- A. ありがとうございます。
- Q. どのような方から相談がありますか。
- A. 主に民生委員さんです。あとは近所の隣人の方が多いです。
- Q. どのような相談内容ですか。
- A. 家庭内での老人虐待、セルフネグレクトが多いです。こういった場合は訪問して現場確認を行っております。
- Q. 地域の民生委員に東京城東病院に長寿サポートセンターができたから相談に行くよう促している。
- A. ありがとうございます。5/24に長寿サポートセンターのお披露目会を行い、行政を始め、民生委員の方々、居宅のケアマネージャーの方等を招待したところです。
- Q. 今後、認知症老人が増えてくる。どう把握し対応するかが問題となってくるので、そういったことに対応できる窓口が必要と考えています。東京城東病院は、長寿サポートセンターが医療と直結しているので利便性は高いと思います。
- A. コンパクトではありますが、疾病予防から急性期、介護から在宅までがシームレスに提供できる医療機関であることは当院の強みだと思えます。
- Q. 老健の療養相談について具体的に考えてほしい。
- A. 医療相談ができると思つて来所される利用者の方が多いですが、療養相談についても積極的にお話を伺っております。病院が併設されていることもあり安心感があると思われま

- Q. 老健施設はいつも満床のイメージがありますが、資料では90%程度の利用率となっていますが入所できる余裕はあるのでしょうか。
- A. 患者様が急性期病棟→包括病棟→老健という流れのなかで、しっかりリハビリを行い在宅復帰させることが重要です。また、夏・冬の時期は老健で過ごし気候の良い春・秋は自宅で過ごす患者様もおり、バックボーンが変化してきている。それ以外にも老健入所者の方で特別養護老人ホームと同時申請されており、そちらに空きができれば即退所となります。以前に比べ入所する男女比が変化してきており、居室の準備が物理的に難しくなっており利用率に影響が出ることがあります。
- Q. 江東区内のほぼ全ての地区で訪問看護ステーションを配置しておりますが、貴院では訪問看護ステーションをつくる予定はありますか。
- A. 現在当院では、訪問看護室があり訪問リハビリも実施しておりますが、将来的には取り組んでいきたいと考えております。
- Q. 江東区内で30近い訪問看護ステーションが一気にできたことから、患者の取り合いになってきている状況がある。
- A. 取り巻く環境や動向を見ながら検討します。
- Q. 東京城東病院には、救急指定病院として急患の受け入れ等についてかなり機能していて非常に助かっています。
- A. ありがとうございます。今後も救急業務には積極的に取り組んでまいります。

●次回開催は11月。詳細な日程は後日改めて決定する。

●最後に、院長より謝辞を述べ閉会した。

以上